

合同庁舎記者クラブ・鳥取県政記者会・島根県政記者会・岡山県政記者クラブ・広島県政記者クラブ・山口県政記者クラブ・山口県政記者会・山口県政滝町記者クラブ・中国地方建設記者クラブ

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」の発足について ～インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」の発足会議を開催～

インフラメンテナンス国民会議の公認フォーラムであるインフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」の発足会議を以下のとおり開催します。

1. 開催日時 平成30年6月28日（木）13:30～15:30（受付開始13:00）
2. 開催場所 中国運輸局 海技試験場（広島市中区上八丁堀6-30）
3. プログラム
13:30～ 開会挨拶
13:50～ インフラメンテナンス国民会議の概要説明
14:10～ インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」の概要説明
14:30～ 講演①「市民が護るインフラのメンテナンス
～維持管理あり方について考える～
（広島大学大学院工学研究科 特任教授 藤井堅）
15:00～ 講演②「産官学で取組む『岡山工業高校道路パトロール隊』活動報告」
（岡山県立岡山工業高等学校土木科 教諭 狩屋雅之）
15:30（予定） 閉会
4. インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員会（事務局）名簿 裏面
5. インフラメンテナンス国民会議及び国民会議「ちゅうごく」について 別紙

（取材について）

当日は報道席を設けており、本会議の資料は会場にて配布いたします。報道席へご案内いたしますので、ご来場頂いた際は、受付までお越しください。

〇問い合わせ先

【発足会議の内容に関すること】

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員会（事務局）
（復建調査設計株式会社 保全構造部内）TEL：082-506-1814
藤井 友行

【インフラメンテナンス国民会議に関すること】

国土交通省中国地方整備局 TEL：082-221-9231
事業調整官 藤原 博明（内線3116）
広域計画課 課長補佐 平西 邦裕（内線3212）

【広報担当窓口】

広報広聴対策官 岩下 恭久（内線2117）
企画部環境調整官 井上 和久（内線3114）

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」リーダー及び企画委員会（事務局）名簿

	組織名	所 属	役 職	氏 名
リーダー	広島大学	大学院工学研究科	特任教授	藤井 堅
企画委員 リーダー	復建調査設計株式会社	保全構造部	次長	藤井 友行
企画委員	株式会社ウッドプラスチックテクノロジー	本社	代表取締役社長	中山 東太
	株式会社営善		取締役副社長	岩村 誠治
	岡山県立岡山工業高等学校	土木科	教諭	狩屋 雅之
	株式会社ガイアート	中国支店 製品事業部	部長	林 一則
	株式会社熊谷組	中四国支店 営業部	部長	紀 淳
	合同会社スマートウォーター		代表社員CEO	高橋 千里
	戸田建設株式会社	広島支店 土木営業部	部長	廣田 和道
	日進工業株式会社	東京事業所	副所長	若木 和雄
	株式会社フジタ	広島支店 営業部	部長	奥村 享作
	富士通株式会社	中国社会ネットワーク営業部	アシスタントマネージャー	清水 裕介
	株式会社Roope's		代表取締役	丹羽 健介

インフラメンテナンス国民会議(平成28年11月28日設立)

設立の背景

- インフラは豊かな国民生活、社会経済を支える基盤であり、急速にインフラ老朽化が進む中で施設管理者は限られた予算の中で対応しなければならず、インフラメンテナンスを効率的、効果的に行う体制を確保することが喫緊の課題
- 豊かな国民生活を送る上でインフラメンテナンスは国民一人ひとりにとって重要であることから、インフラメンテナンスに社会全体で取り組むパラダイムの転換が必要

目的

1. 革新的技術の発掘と社会実装
2. 企業等の連携の促進
3. 地方自治体への支援
4. インフラメンテナンスの理念の普及
5. インフラメンテナンスへの市民参画の推進

国民会議の性格

産官学民が連携するプラットフォーム



設立の位置付け

- 社会資本整備審議会・交通政策審議会技術分科会技術部会 提言(平成27年2月)「社会資本のメンテナンス情報に関わる3つのミッションとその推進方策」
- 日本再興戦略改訂2015-未来への投資・生産性革命-(平成27年6月30日閣議決定)
- 日本再興戦略2016-第4次産業革命に向けて-(平成28年6月2日閣議決定)
- 政務官勉強会 提言(平成28年7月29日)

準備状況

- 意見交換会(平成27年11月～12月、平成28年4月)2回
- 部会・フォーラム準備会(平成28年6月2日～9月29日)延べ11回

インフラメンテナンス国民会議の組織

○ 会員組織による運営

○ 企業、行政、団体、個人による会員組織

会員は、国民会議の趣旨に賛同して十分な意欲を持って活動に参画していただける企業、団体、行政機関(国を除く)又は個人による正会員(下表(1)～(4))とし、正会員については、入会の手続きを経て会員の資格を取得することとします。

そのほか、国民会議運営のために会員の推薦によりご入会いただく特別会員や、活動以外の形態により国民会議に協力をいただく賛助会員があります。

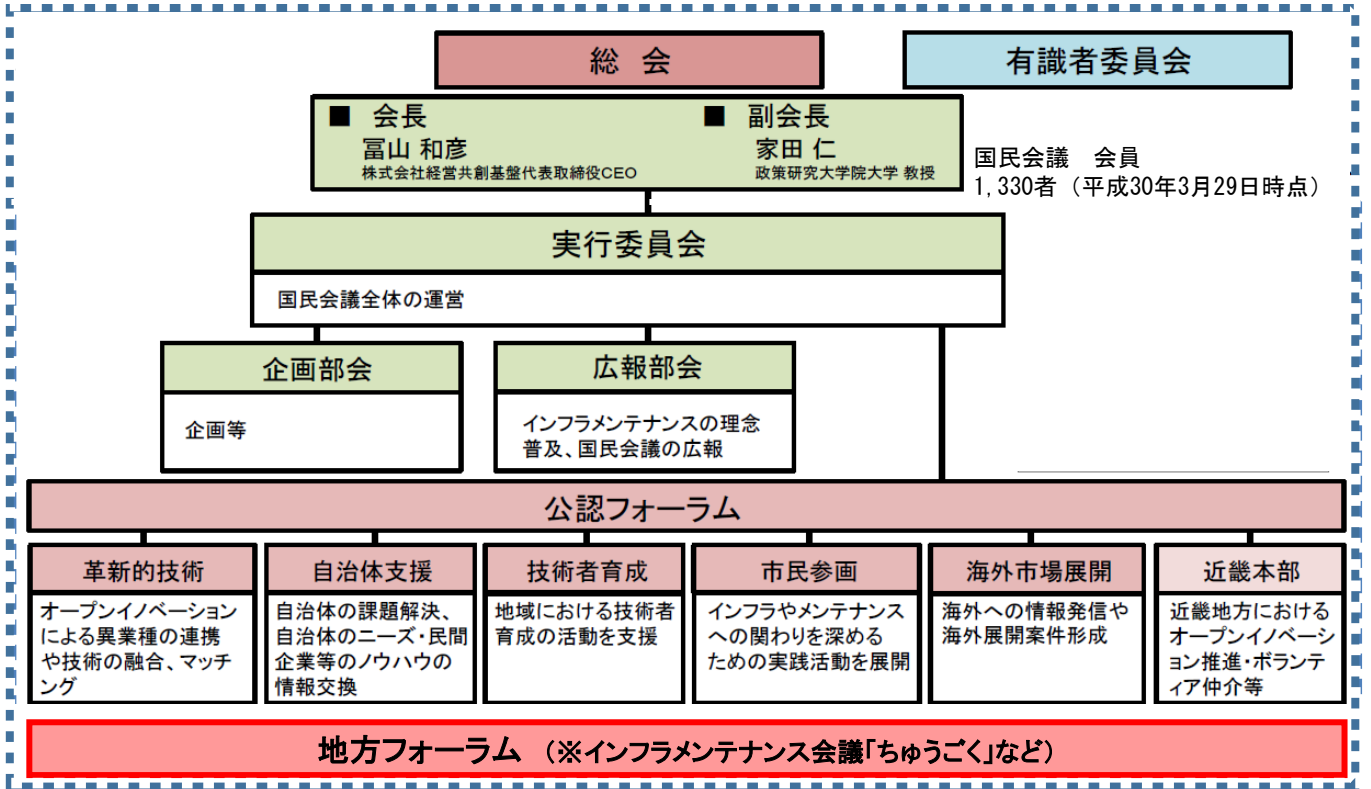
正会員	(1)企業会員	国民会議の目的に賛同して入会する企業
	(2)行政会員	国民会議の目的に賛同して入会する行政機関(国を除く)
	(3)団体会員	国民会議の目的に賛同して入会する団体((1)及び(2)の団体を除く)
	(4)個人会員	国民会議の目的に賛同して入会する個人
非正会員	(5)特別会員	国民会議の事業に必要であるとして正会員に推薦され、国民会議の目的に賛同して入会する行政機関(国を除く)
	(6)賛助会員	国民会議の目的に賛同し、国民会議の事業に協力する企業、企業以外の団体又は個人

Q1: 国民会議の参画に入会金や年会費はかかりますか。

A1: かかりません。
ただし、旅費等の活動に係る経費は自己負担となります。



インフラメンテナンス国民会議の組織体制



支援

国(国土交通省および関係省庁)

※公認フォーラム、地方フォーラム: 会員が知識・人材の交流を深め解決策を見出す場として国民会議が認定して設置されたもの

地方フォーラム

『インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」』について

○概要

インフラという地域の資産を維持するために、行政だけでなく産学官民での連携による持続可能持続可能な維持管理や予防保全の取組が重要との観点から、①インフラメンテナンスのベストプラクティスの水平展開や②民間企業と連携した中国地方発の技術開発、③地域における市ける市民等の連携の促進などに取り組み、確実かつ効率的なインフラメンテナンスの実現を図ることを目的とし、平成30年3月に設立したもの。

中国地方整備局の所管エリアである中国地方ブロックを対象とし、ブロック内の会員(産学官(産学官民)が参画してフォーラムを設立、運営・開催するものであり、対象分野はインフラ全般とフラ全般とし、官民相互のニーズを効率的に深掘りしていくもの。